

## 1. 病診連携・あんしんカードの使用にあたって

- ◆ 夜間・休日などに突然病状が変化した場合に使用するカードです。
- ◆ 登録の病院が満床および緊急対応中の場合は、他の救急病院での対応になることもあります。また、病状により他の病院を紹介させていただく場合もあります。
- ◆ 重症・緊急の場合以外は、救急車ではなくタクシーやマイカーを利用してください。緊急性が低い時や判断に困った時は、かかりつけ医か、担当の訪問看護師等に連絡して相談してください。
- ◆ 救急車を呼ぶ場合、宇治市・城陽市・久御山町以外の救急隊は「あんしんカード」を知らない可能性があるため、その時はカードを渡してもらい、「カードに書いてある病院へ搬送して欲しい」と依頼してください。
- ◆ 症状によっては（一刻を争う場合や心臓や脳疾患など特殊な病態の場合）カードの登録先病院以外の病院への搬送が望ましい場合があります。その場合は救急隊が判断した病院に搬送される可能性があります。
- ◆ 夜間や休日は、病院で十分な検査や投薬ができない場合もあります。
- ◆ 受診時は、「あんしんカードが入った専用封筒」、「保険証」、「おくすり手帳（薬剤情報）」、「現在処方されている薬」を持って行ってください。



## 2. 病診連携・あんしんカードの使用方法

1

まずは「あんしんカード」で決められた登録病院に、直接電話連絡してください。その際必ず「病診連携・あんしんカード」を持っていることを教えてください。



2

その病院から、どのようにすればいいか指示を受けます。

登録の病院が満床および緊急対応中の場合は、他の救急病院での対応になることもあります。

また、病状により他の病院を紹介させていただく場合もあります。



3

病院へ行かれる際には、次のものを準備してください。

- 「病診連携・あんしんカード」 在中の封筒
- 保険証
- お薬手帳（薬剤情報）
- 現在処方されている薬剤



4

後日、かかりつけ医と病院が連絡を取り合います。

### ※「病診連携・あんしんカード」について

- ・このカードは、夜間・休日などに突然病状が変化した場合に、安心して治療が受けられるように考案され、宇治久世医師会と複数の連携病院の協力により誕生したものです。
- ・使用については、「1. 病診連携・あんしんカードの使用にあたって」と「2. 病診連携・あんしんカードの使用方法」をお読みいただき、ご不明な点はあらかじめ、かかりつけ医にご相談ください。